



2022年7月期 第2四半期 決算補足説明資料

2022年3月14日

VALUENEX株式会社

東証マザーズ：証券コード4422

VALUENEX

前年に引続き、長引くCOVID-19の感染拡大により、経済的・心理的被害を受けた方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当社は、ビッグデータ俯瞰解析によりCOVID-19の感染収束と顧客企業の業績回復に貢献することを通じて世界の為に役に立ちたいと考えております。

項目

1

2022年7月期第2四半期業績報告

2

2022年7月期連結業績予想

3

事業概要

2022年7月期 第2四半期まとめ

1

売上・利益ともに前年を上回り、黒字化しました。

- ・売上高 : 297百万円 (前年比+125百万円、+72.5%)
- ・営業利益 : 9百万円 (前年比+170百万円)
- ・経常利益 : 22百万円 (前年比+173百万円)
- ・最終利益 : 21百万円 (前年比+172百万円)

2

コンサルティング売上は大幅増加・ASP売上は堅調に積み上がり、ともに対前年を上回りました。

- ・コンサルティング売上 : 158百万円 (前年比+230.6%)
- ・ASP売上 : 134百万円 (前年比+8.1%)

3

総コスト（売上原価+販管費） : 288百万円 (前年比▲13.6%)

- ・コスト削減により、売上原価含む総コストで前年比約45百万円減少いたしました。

2022年7月期 第2四半期 連結業績概要

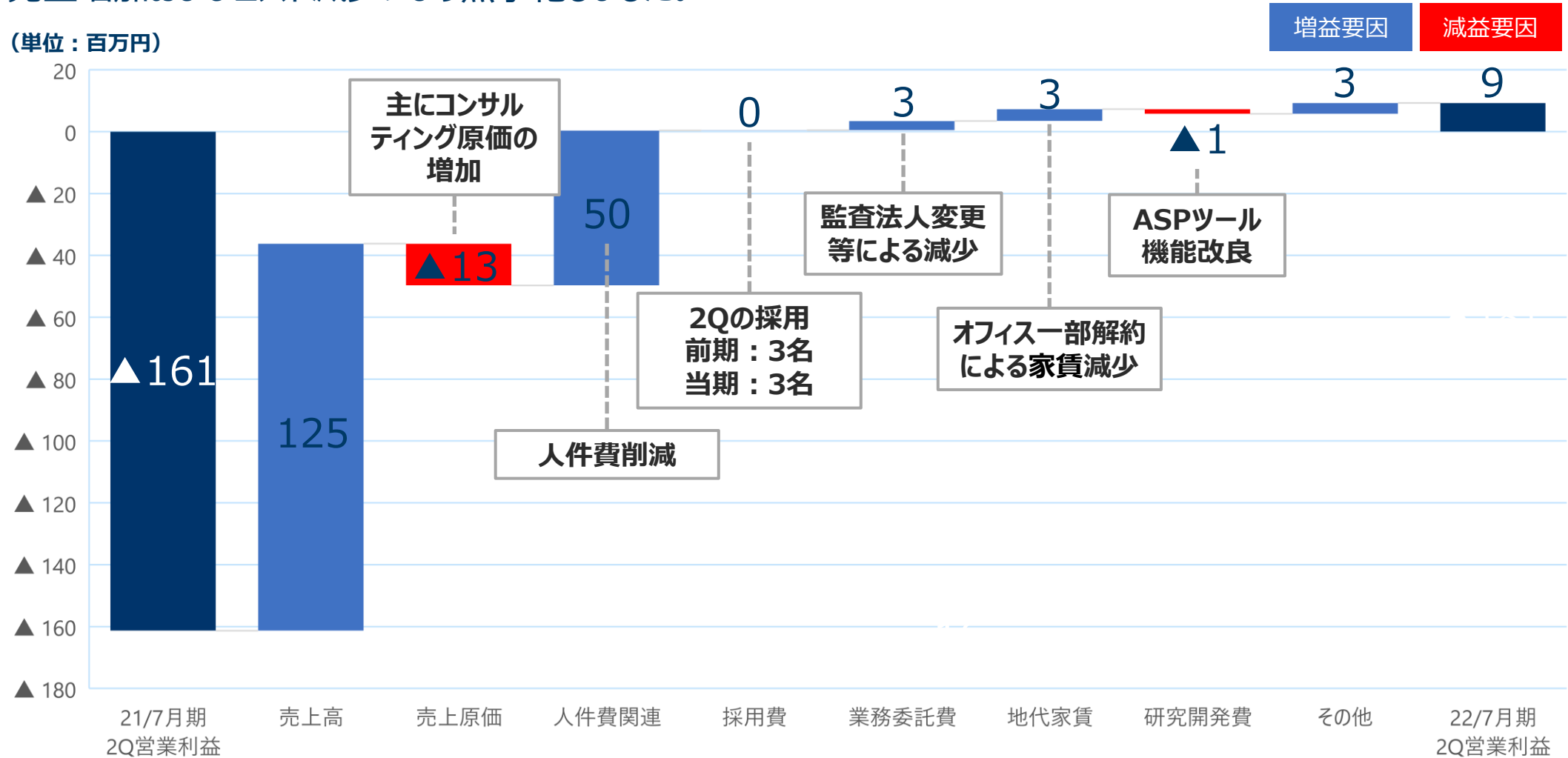
売上増加および販管費の減少により、売上高・営業利益ともに前年を上回り黒字化しました。

(単位：百万円)	21/7月期 2Q実績	22/7月期 2Q実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	172	297	125	+72.5%
売上総利益	126	237	111	+88.4%
販管費	287	228	▲ 58	▲ 20.5%
営業利益	▲ 161	9	170	-
経常利益	▲ 151	22	173	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 150	21	172	-

2022年7月期 2Q累計連結営業利益増減要因

売上増加およびコスト減少により黒字化しました。

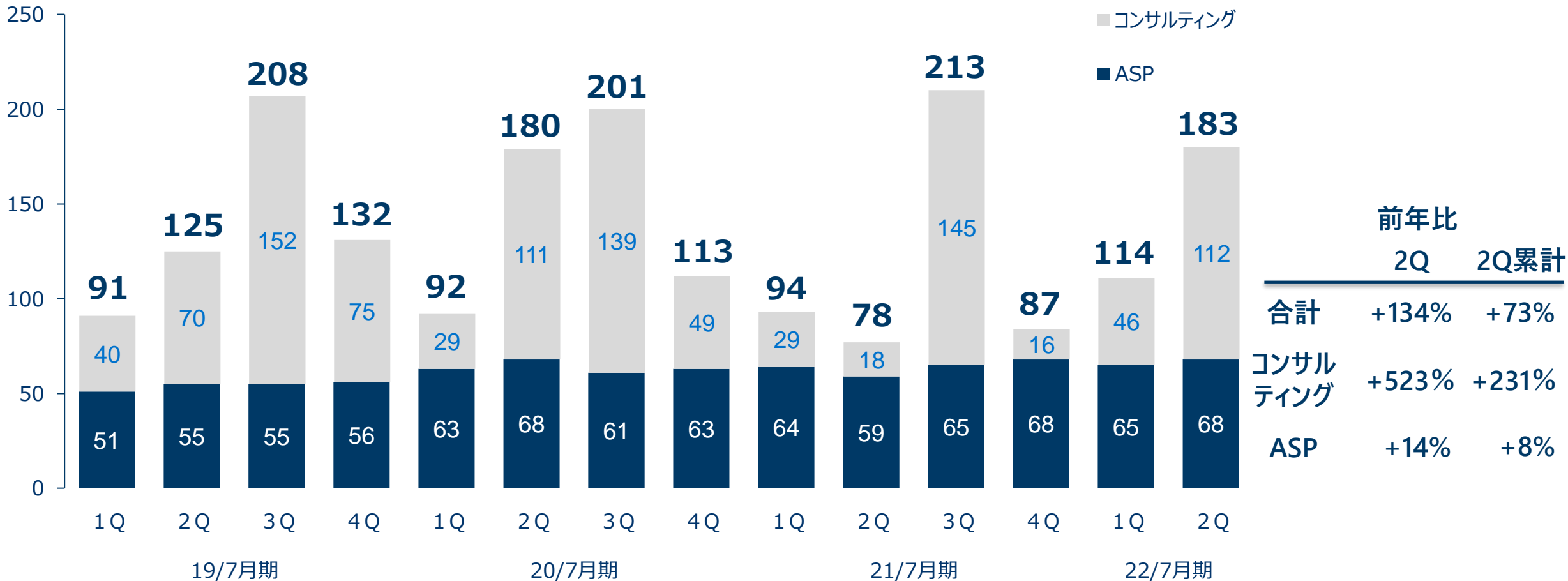
(単位：百万円)



※売上原価は、売上増加とともに増えますが、内訳のコンサルティング原価やシステム管理費の一部に振替後の人件費が含まれております。

連結売上高の推移（サービス別）

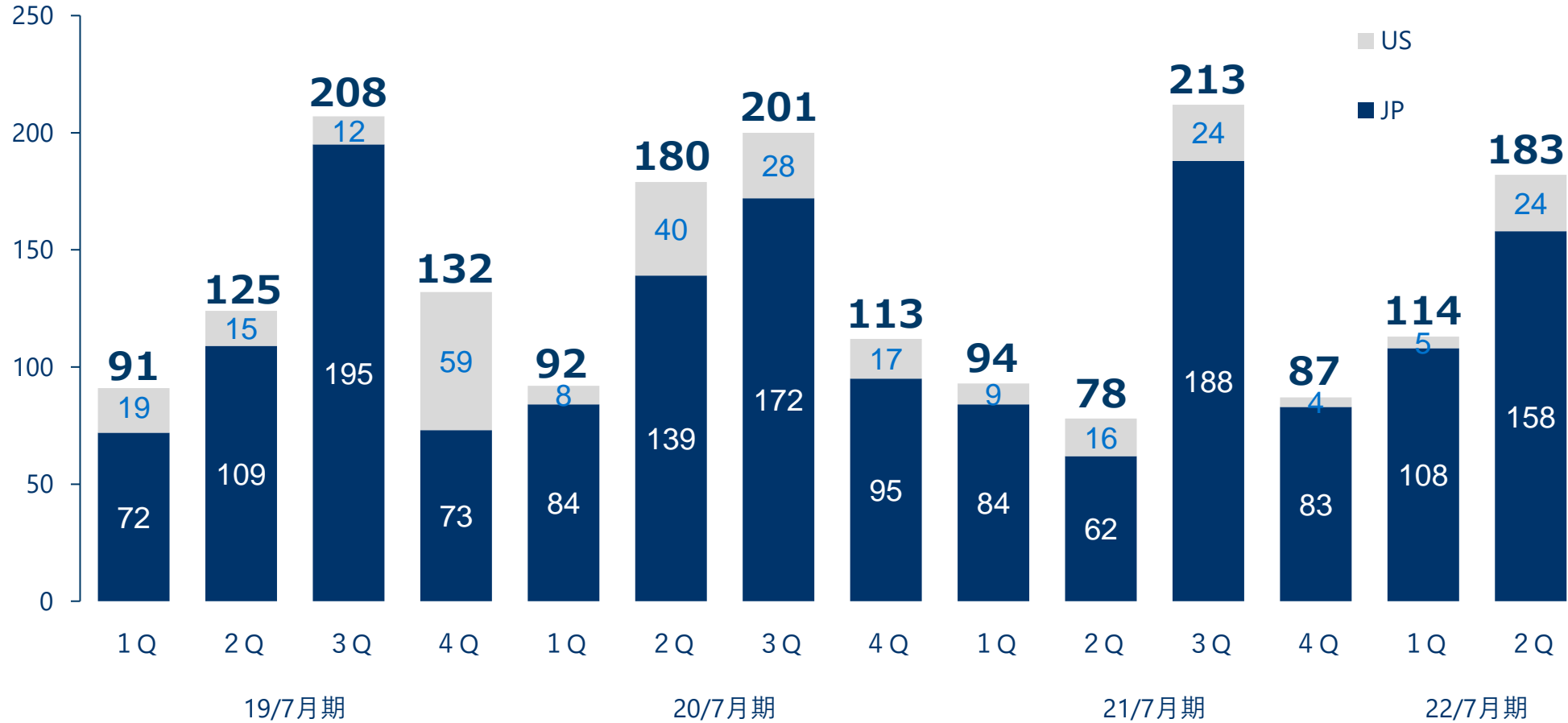
コンサルティング・ASPともに2Qおよび2Q累計で過去3年を上回りました。



※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

連結売上高の推移（地域別）

USは2Qおよび2Q累計で前年を上回りました。JPは2Qおよび2Q累計で過去3年を上回りました。

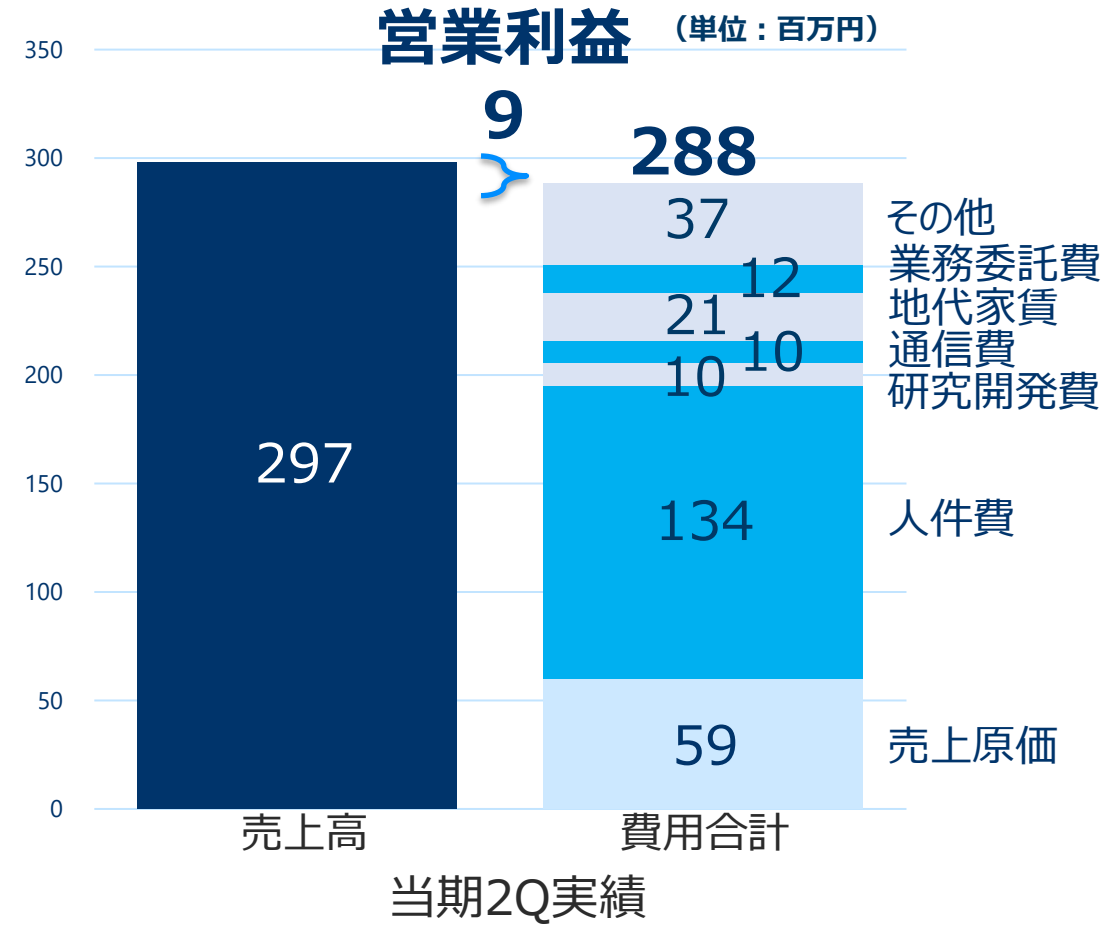
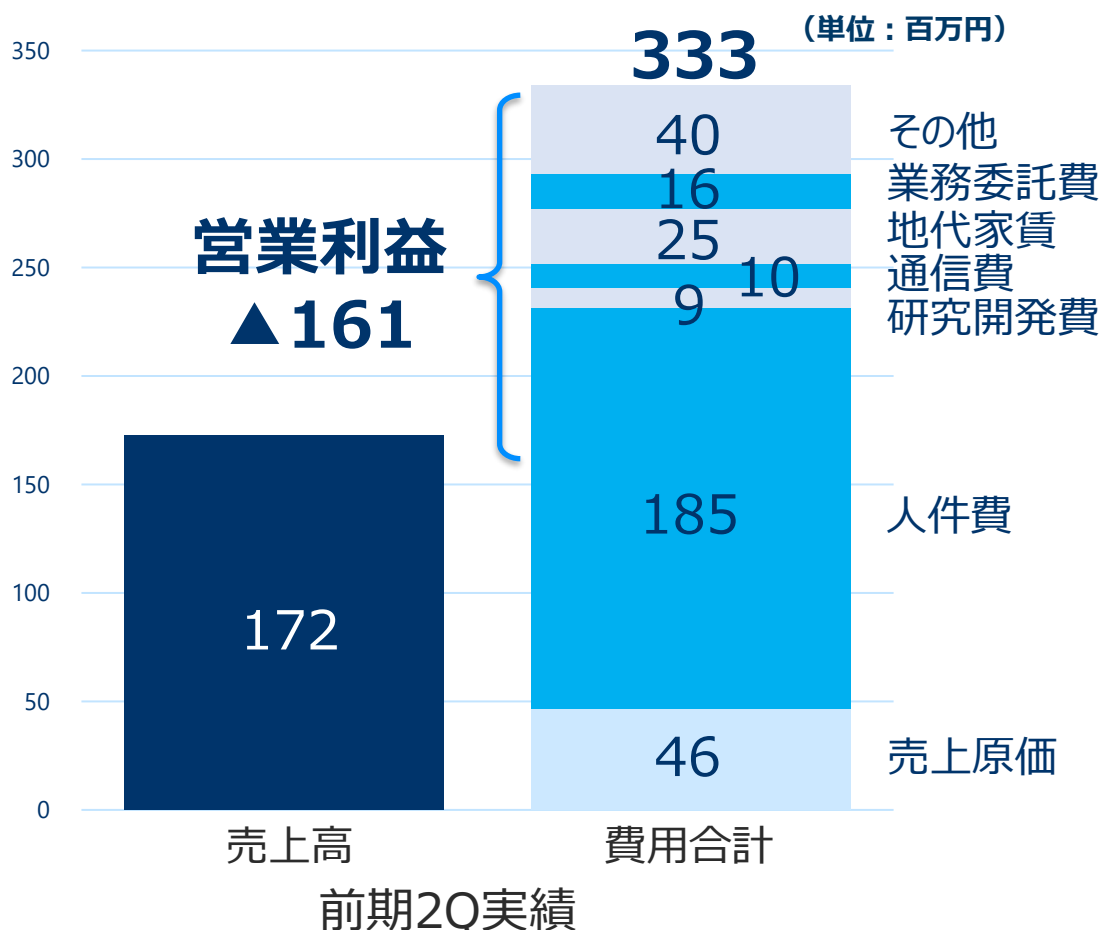


	前年比	
	2Q	2Q累計
連結	+134%	+73%
US	+52%	+14%
JP	+155%	+83%

2022年7月期 第2四半期 連結営業費用の内訳

人件費の減少：人員削減にともなう減少です。

業務委託費の減少：監査法人変更等による当期費用の削減です。



※売上原価は、売上増加とともに増えますが、内訳のコンサルティング原価やシステム管理費の一部に振替後の人件費が含まれております。

VALUENEX, Inc. (米国) 第2四半期活動状況

営業活動

- パロアルトというシリコンバレー中心地のVALUENEX, Inc.のオフィスを活用し、ベンチャーキャピタル（CVC）やオープンイノベーション向けの新しいメンバーシップサービス（データ解析ツール＋ワークスペース）を提供するインサイト・カフェを9月に立上げ、主要な顧客獲得に成功しています。インサイト・カフェをきっかけに新しいお客様へのアプローチ機会を増やしています。
- 今期に新しく開拓したシリコンバレーのお客様から相次ぎ3件目のプロジェクトを受注しました。さらに4月から2つのプロジェクト提案依頼があり、現在準備中です。
- 日系大手のグローバルタスクフォース部署より、シリコンバレーでのイノベーション活動を支援する大型プロジェクトを受注しました。

マーケティング

- インサイト・カフェの毎月のMeetup & Happy hourイベントにより、新規顧客を効率よく開拓できるようになりました。
- 業界で長年経歴のある3人のアドバイザーを入れることで、よりハイレベルな営業活動が可能となりました。

開発

- コンサル業務とお客様のインサイト抽出を効率化できるオートレポート機能をアメリカ主導で開発中です。
- スタートアップ簡易可視化ツールであるスタートアップ・ファインダーのさらなる機能向上に向けて改良中です。

第2四半期の取り組み・記事掲載

■ IPランドスケープ推進支援サービスを開始

IPランドスケープの要諦である知財部と事業部との密な連携を通してイノベーション創発をサポートするIPランドスケープ推進支援サービスを開始しました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/ip-service211109>

■ 特許×論文の融合解析で研究開発を俯瞰する技術戦略サービスを開始

技術の研究段階から開発段階を同時に分析し次の技術動向分析する技術戦略策定支援サービスを開始しました。

本サービスにより論文と特許の同一技術判定を自動で行うことで、技術の研究・開発ステージの判定が容易となり、新たな技術領域への参入難易度判断がより正確に行うことが可能となります。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/patents-paper-analysis>

第2四半期(11~1月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

	内容	URL
メディア 掲載	2022年1月24日 当社の提供情報が1月24日の日本経済新聞に掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/nikkei220124
セミナー 登壇	2021年12月5日 早稲田大学知的資本研究会 (WICRS) 主催、WICI2021コンカレントセッションに弊社CEOの中村が登壇	https://waseda-poc.jp/news/649/
	2021年12月7日 BrightTALKにて弊社CEO中村がビッグデータ解析における空白領域の抽出について配信	https://www.brighttalk.com/webinar/intangible-to-tangible-detecting-white-space-in-big-data-for-bi/?utm_source=brighttalk-growth&utm_medium=web&utm_campaign=thought-leader&utm_content=none&utm_term=valuenex

開発の状況

1. US市場に浸透するためのMac版ツールの提供 (+ Windows版ツールの改良)
2. ベンチャー企業分析ツール(Startup Finder)の開発・精度向上策の実施
3. 分析結果をより簡単にご利用頂くためのレポート機能の開発
4. その他VALUENEX Radarの機能改善・開発強化

項目

1

2022年7月期第2四半期業績報告

2

2022年7月期連結業績予想

3

事業概要

2022年7月期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、2年以上たった今もなお引き続き世界経済に深刻な影響を与えています。さらにロシアのウクライナ侵攻の影響も懸念されます。当社グループのお客様はグローバル展開されている大企業が大半であることからその影響を慎重に勘案し、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況であるものと考えます。

以上の状況から、当期（2022年7月期）の連結業績予想につきましては未定とさせていただき、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

項目

1

2022年7月期第2四半期業績報告

2

2022年7月期連結業績予想

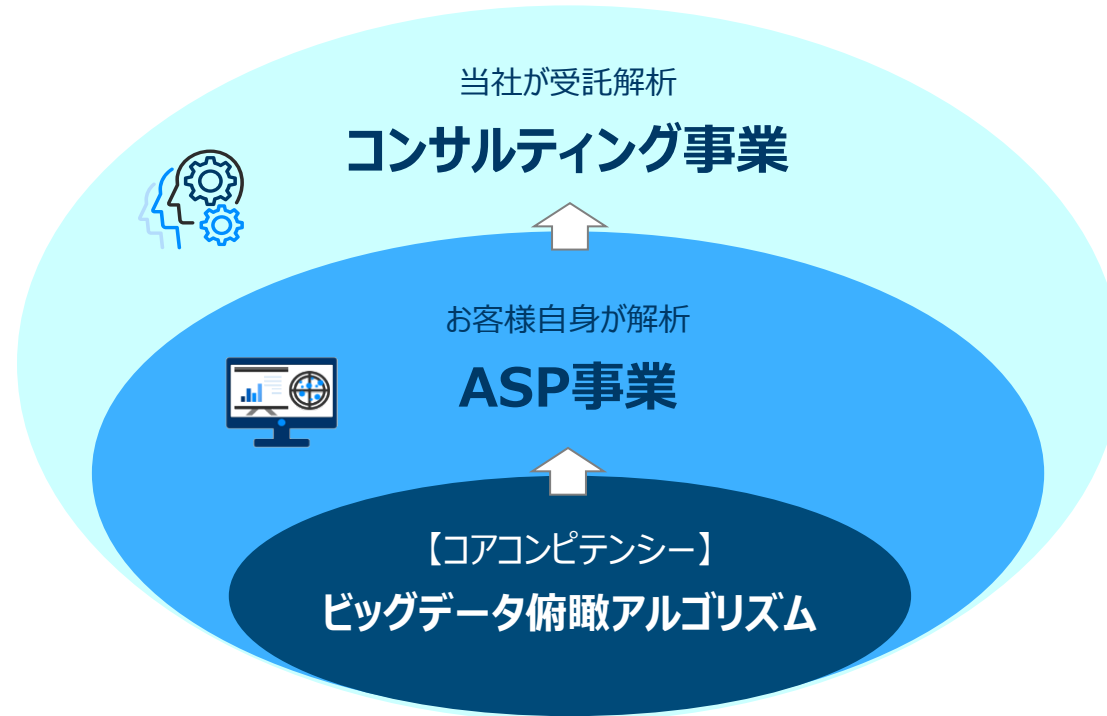
3

事業概要

当社のアルゴリズム事業

当社アルゴリズム事業は主に2つの販売形態から成り立っております。

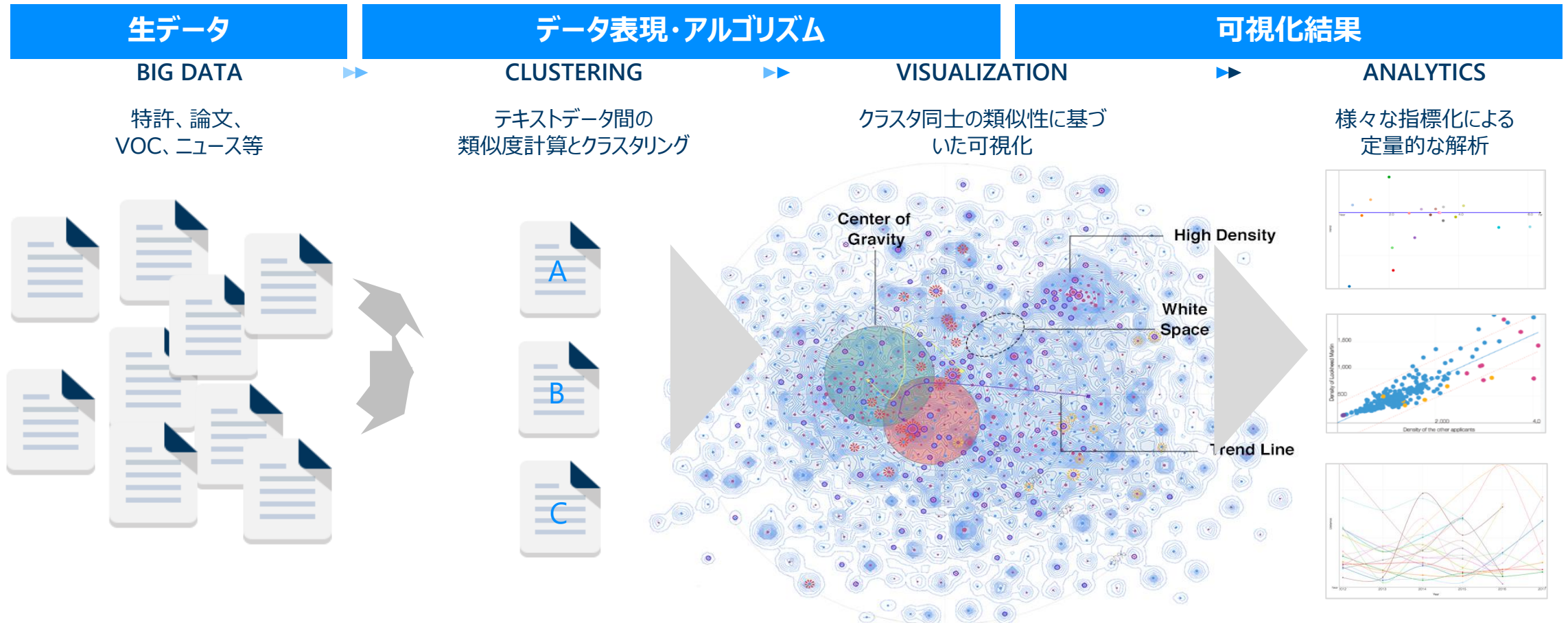
- ・ 俯瞰解析アルゴリズムを活用したコンサルティング事業
- ・ 当該アルゴリズムを根幹とするASP事業



※ ASP = Application Service Providerの略。インターネット等のネットワークを通じてアプリケーションソフトウェアを提供するサービス

VALUENEXツールの概要

大量のテキストデータ同士の類似性を可視化した俯瞰図により、テキストデータの全体像を把握する手法です。これにより、知的財産、研究開発、マーケティング等に資する知見の獲得が可能です。

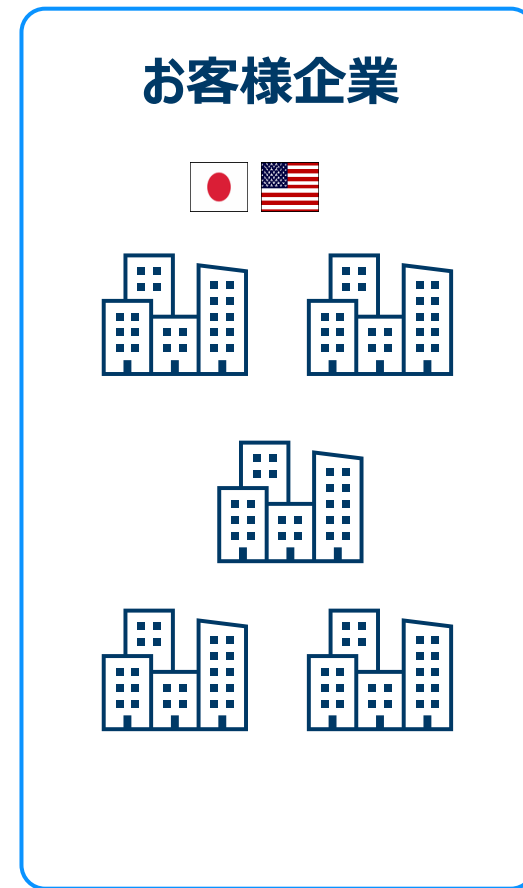
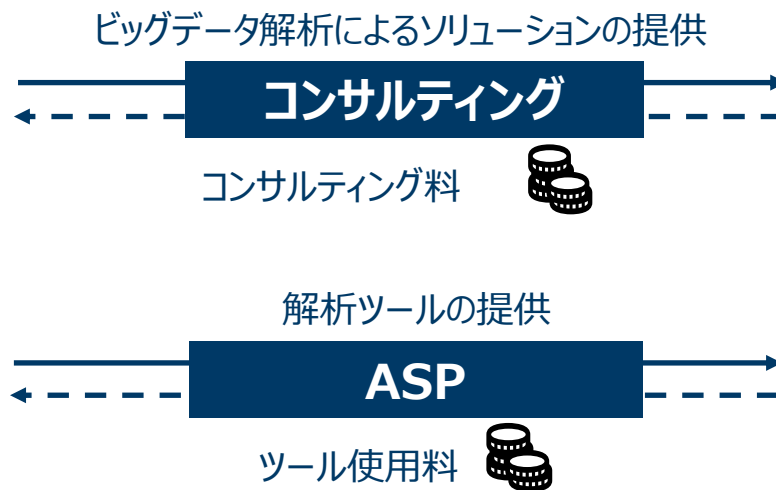
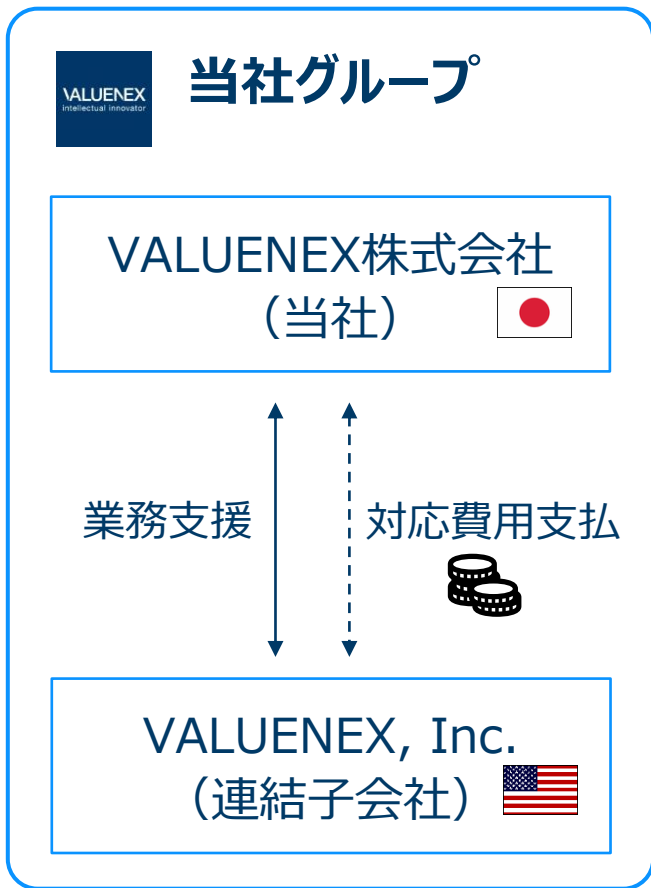


VALUENEX サービスアウトライン

サービス		概要	解析対象テキストデータ
コンサルティング		<ul style="list-style-type: none"> ご要望に応じてVALUENEXが調査・分析を実施。弊社コンサルタントが弊社のSaaSを活用し、お客様とともに課題解決を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象データはご相談の上決定 ・特許 ・論文 ・その他文献
VALUENEX Radar (SaaS)		<ul style="list-style-type: none"> あらゆる情報源から技術動向分析、新規事業創出、市場ニーズ把握など様々なビジネス戦略に活かせるデータ解析ツールです。 ・非特許文献（論文、アンケート、VOCなど） ・特許文献問わず、多種多様なテキストデータを解析 ・高速1,000件～最大10万件の文献を読み込み可能 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる文献 ・特許 ・論文 ・ニュース、SNS ・新聞、雑誌 ・アンケートなど ・貴社内各種データ ・スタートアップデータ ・その他テキストデータ <p>※特許DBはオプション販売有</p>
VALUENEX Radar サポートサービス	伴走サービス	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX導入後の活用にご不安をお持ちの方、また初めて俯瞰解析に携わる方に、お困りの点について伴走をさせていただきます。 ・部門、ご自身の俯瞰解析スキルを向上させたいという方 ・一定レベルの俯瞰解析スキルを身につけたいという方 	
	コーチング	<ul style="list-style-type: none"> VALUENEX Radarご利用のお客様向けのアシストサービス お客様とともにトータルで俯瞰解析のコーチングを実施させていただきます。 ・より付加価値のある解析を行いたい、特定のテーマに関する解析を全面的にサポート ・解析観点や方法の設定、まとめ方等に不安がある方 ・DX人材、データサイエンティスト育成を検討されている方 	
カスタム開発 (協業による新規事業開発)		<ul style="list-style-type: none"> お客様が提供するサービスへ俯瞰解析機能を付加、または新しく解析ツールを開発する等、新規事業を共同開発します。 例) Stand Aloneサービス、API提供 	<ul style="list-style-type: none"> ご相談

事業モデル

当社独自の解析ツール(ASP)の提供、知的財産等幅広い分野の俯瞰解析から予測分析・戦略活用まで、コンサルティングサービスやレポート販売サービスを提供しております。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	531百万円（2022年1月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結26名、単体24名（2022年1月31日時点） ※役員除く		
役員	中村 達生	: 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）	
	鮫島 正明	: 専務取締役 CFO / MBA（経営管理）	
	本多 克也	: 常務取締役 先進情報学研究所所長 / 博士（工学）	
	片桐 広貴	: 取締役 CTO / 工学修士	
	瀧口 匡	: 取締役 経営企画担当 / 博士（国際経営）	
	鈴木 理晶	: 社外取締役 / 弁護士	
	松田 均	: 社外常勤監査役 / 公認内部監査人	
	花堂 靖仁	: 社外監査役 / 大学名誉教授	
	宮内 宏	: 社外監査役 / 弁護士	

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

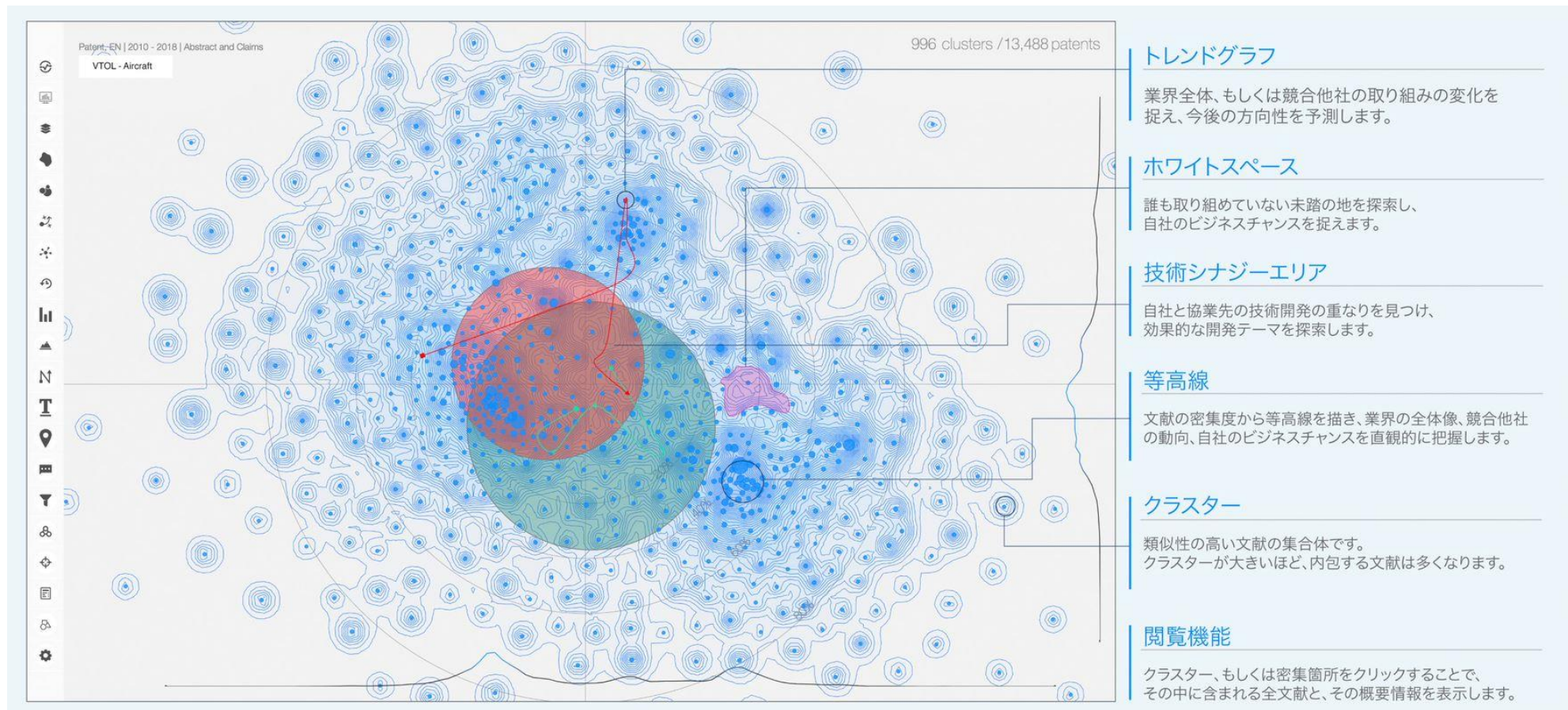
Vision

- **我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です**
- **我々は、世界に認知される企業を目指します**
- **我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します**
- **我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します**

当社ASPの検索・可視化イメージ

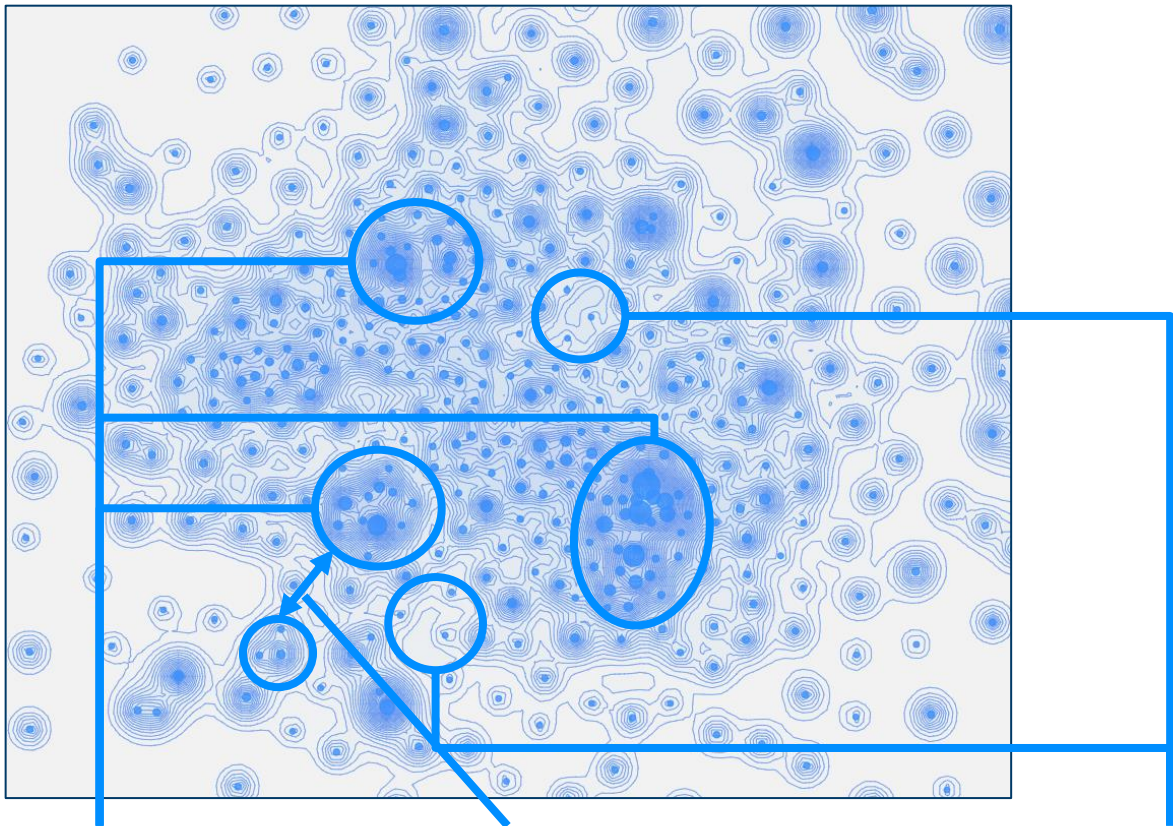
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

● ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

□ ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

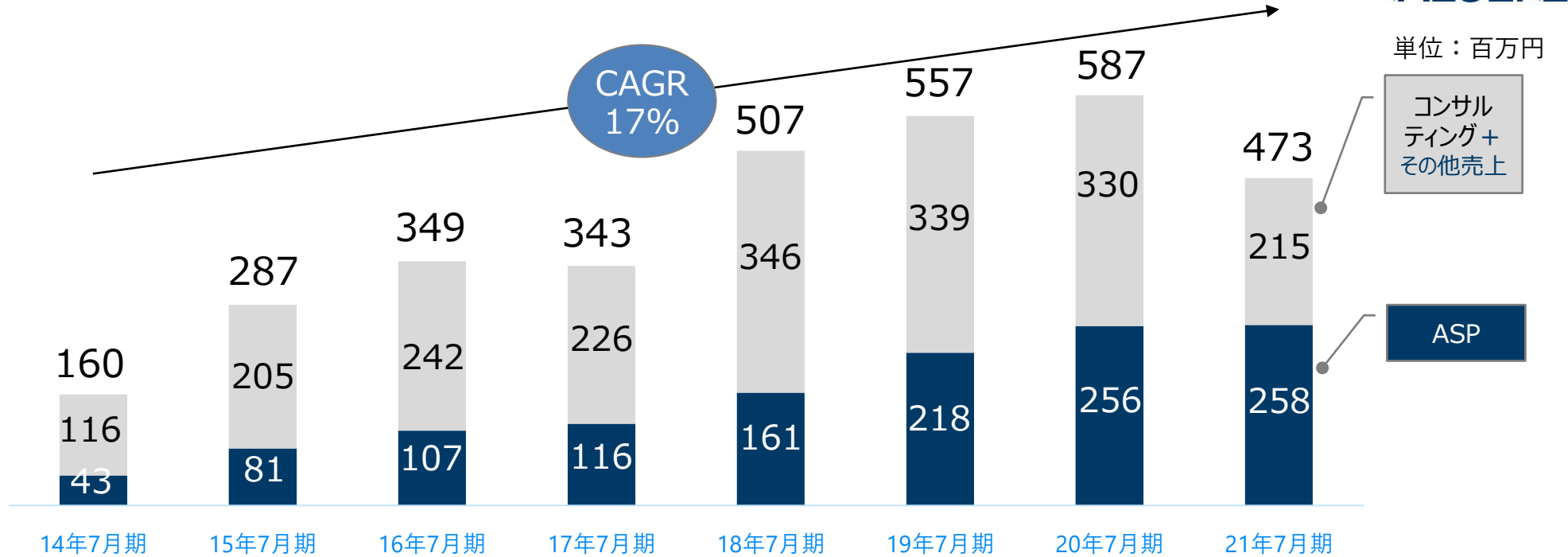
クラスタが密集
= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース
= 内容の関連性が高い

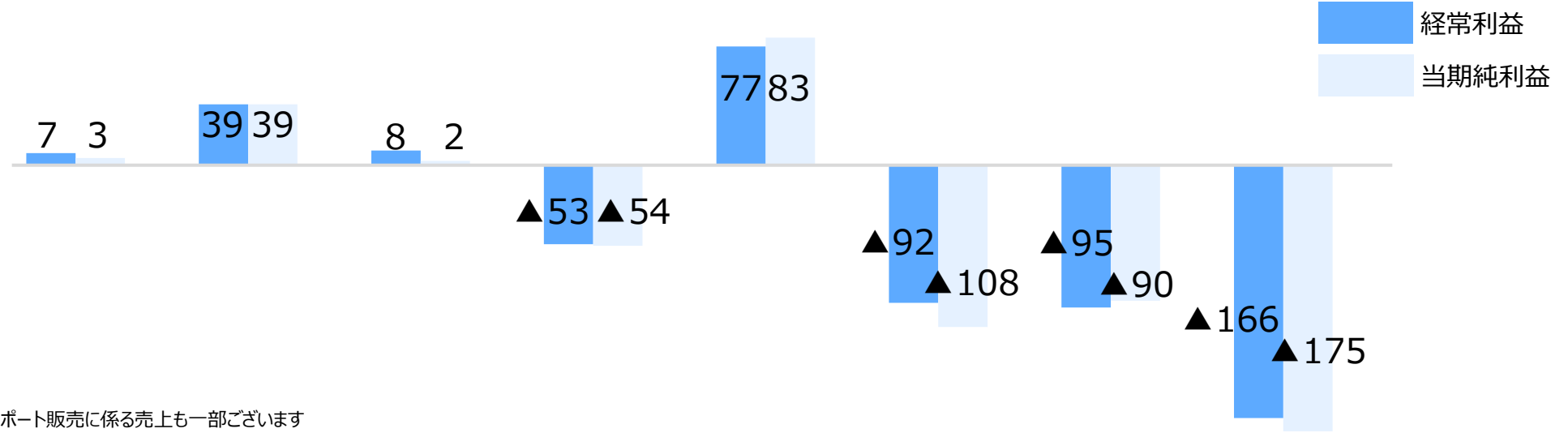
単位：百万円

業績推移

売上高^注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

www.valuenex.com
customer@valuenex.com